科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：ドイツ文学入門 ILAS Seminar :Introduction to German Literature			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　准教授　籠　碧		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	6 (6) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	文学部　文系学部校舎５階　籠研究室（L505）(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	ヨーロッパ文学関連 / 文学一般関連 / ドイツ語文学						

[授業の概要・目的]

　ドイツ語文学のうちで比較的短く、読みやすい３篇ーー『砂男』、『みずうみ』、『トニオ・クレーガー』ーーを熟読します。まずはそれぞれの作品について受講者に簡単な発表を行ってもらい、全員で議論・考察します。それを通して１９世紀初頭から２０世紀初頭までのドイツ語文学史を概観し、歴史や社会とフィクションの結びつきについて考えます。また、文学作品をさまざまな角度から論じる手法を習得します。

　中盤以降は、受講者それぞれが好きなドイツ語文学作品をひとつ選び、発表してもらいます。その際、自分の興味のある「特定のテーマ」に注目した発表をお願いします。最後に、発表内容を発展させたレポートを執筆し、自分の考えを論理的に言語化する力を養います。

[到達目標]

・文学作品を読み解く技法を習得する。
・文学作品を、特定の視点から解釈する方法を学ぶ。
・外国文学に親しむ。
・ドイツ語文学に関する基礎的な知識を身につける。

[授業計画と内容]

第１～２回　イントロダクション（自己紹介、授業の進め方の説明、発表担当者の決定、入門書の紹介など）

第３～４回　ホフマン『砂男』

第５～６回　シュトルム『みずうみ』

第７～８回　トーマス・マン『トニオ・クレーガー』

第９～１３回　担当者による発表

第１４回　まとめとレポートの書き方

第１５回　フィードバック

変更の可能性があります。

ILASセミナー ：ドイツ文学入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：ドイツ文学入門(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業への積極的参加と発表（６０点）、期末レポート（４０点）で評価します。

[教科書]

授業で取り上げる作品３篇は図書館で借りる、購入するなどしてご自身でご用意ください。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で取り上げる作品３篇を、図書館で借り、あるいは購入して、各回までに読んでおくこと。発表に際しては準備を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

これまで読んできた本の量は問いません。ドイツ語の知識も不要です。
時間を割いて発表をお願いしたいこと、研究室の収容人数に限りがあることから、履修人数を制限します。

[主要授業科目（学部・学科名）]